

■ 頼城地区3町内会合同で防災・減災研修会を開催

9月23日、頼城地区3町内会合同の「防災・減災研修会」が、頼城多目的研修センターで開催されました。

これは、災害時に地域を守るため、町内会主体の「自主防災組織」設立に向けて開催されたものです。市内では、西宮元町内会で組織されていますが、頼城地区は土石流や地滑りなどの災害危険箇所

として、29か所が指定されており、高齢者世帯も多いことから、自主防災の取り組みが課題となっています。

研修会には、約20人が参加。防災・減災についての講話を聞いた後、住民同士が活発な意見を交わせるよう、「クロスロード」と呼ばれる防災ゲームを行い、防災についての知識を深めていました。



■ 「信頼し合える仲間」をテーマに星槎祭開かれる



10月12日、星槎国際高等学校の学校祭「星槎祭」が、本部校(旧芦別総合技術高校校舎)で開催されました。

今年で15回目の開催。これまで本部校校舎だった緑泉町の旧頼城中学校で開催していましたが、今年9月の校舎移転により、今年から会場が変更となりました。

テーマは「TEAM 信頼し合える仲間」。生徒や卒業生の運営による模擬店のほか、頼城地区住民による「おぼちゃんの店」なども例年通り出店。同地区の住民の皆さんも招かれ、生徒の軽音楽演奏を聞いたり、ジャンケン大会などに参加したりするなど、終日にぎわっていました。

■ 「あるけあるけ運動」で健康づくり。そう快な一日過ごす

10月13日、健康都市宣言記念事業の市民ラジオ体操会、市民あるけあるけ運動、スポーツ少年団交流会が、なまこ山総合運動公園を主会場に開催されました。

この日は曇り空ながらも、まずまずの天候に恵まれ、あるけあるけ運動には、幼児から80歳代の方など86人が参加。4㌔、8㌔の各コースに分かれ、

総合運動公園内の敷地や旭ヶ丘公園など、紅葉真っ盛りの風景を楽しみながら思い思いのペースで歩きました。

また、野球やサッカー、柔道、剣道などスポーツ少年団交流会には、滝川市などのチームも参加し、各競技施設内には元気な声が飛び交うなど、「体育の日」にふさわしく、心地よい汗を流していました。



■ ハロウィーンの仮装やかぼちゃランタン作りを楽しむ



10月19日、国際友好ジャンボかぼちゃ祭りが、道の駅スタープラザ芦別の特設会場で開催されました。芦別市国際交流協会がハロウィーンにちなんで主催しているもので、今年で22回目。

会場内には、重さ400㌔を超える巨大なかぼちゃが展示され、訪れる人の目を引いたほか、オレンジ色のかぼちゃをくり抜いて、目、鼻、口

をつける「かぼちゃランタン作り」が子どもたちに大人気。近隣の市町村に在住する国際交流員など外国人青年の手を借りながら、ユニークな顔のかぼちゃランタンを楽しそうに仕上げました。

また、かぼちゃをボールに見立ててのボウリングゲームや思い思いの格好をしての仮装パレードなど、秋晴れの日を楽しんでいました。